



「8.7 平和を考えるつどい」へようこそ！

1945年3月10日、米軍により八念に計画・実行された焦土作戦により、一晩で10万人もの人々が焼き殺された東京大空襲。江東区亀戸で、当時8歳だった二瓶さんは炎のなか逃げまどい、焼死体の下敷きになってかろうじて助かりました。たくさんの「見る」資料とともに、二瓶さんのお話を伺います。おわりに平和を願う音楽もあります。

初めて来る方、
親子参加 大歓迎

クワッシューって どーゆーこと？

～東京が燃えた日～

映像 & お話 にへいほるよ 二瓶治代さん

東京大空襲・戦災資料センター 3月10日証言者

8月7日（金） 13:30～15:30

(開場 13:00)

矯風会館 1F ホール
(JR 大久保駅北口 1分、裏に地図)

前売りチケット 一般 **900円** お求め
高校生以下 **500円** 方法は
ウラへ

(矯風会 正・賛助会員 800円)

当日 一般・会員 **1,200円**、高校生以下 **500円**

主催：公益財団法人
日本キリスト教婦人矯風会



東京大空襲・戦災資料センター (東京都江東区)

いのちと平和のバトンを、 未来にきちんと受け渡すために

1945年(昭和20年)3月10日の未明、約300機のアメリカ軍爆撃機B29による東京下町地区を目標にした無差別爆撃で、人口過密地帯は火災地獄と化し、罹災者は100万人をこえて、推定10万人もの尊い命が失われました。3月10日を含め、東京は100回以上もの空襲を受けて、市街地の5割を焼失したのです。

「東京空襲を記録する会」は1970年より、この空襲・戦災の文献や物品を広く収集してきましたが、1999年に東京都の「平和祈念館」建設計画が凍結となりました。そこで、「記録する会」と財団法人政治経済研究所は、やむにやまれぬ思いで民間募金を呼びかけ、4000名をこえる方々の協力によって、2002年3月9日、戦禍のもと

も大きかった地に当センターを完成させることができました。用地は一篤志家から無償提供されたものです。

2007年3月には、多くの皆さんの熱いご支援により、さらに増築を実現し、展示を充実させて、修学旅行生など若い世代の「学びの場」としての環境が整いました。

特別展示や戦争災害の調査・研究を始めとして、子どもから大人まで、いのちの貴さを基本に、「知っているなら伝えよう、知らないなら学ぼう」の精神で、当センターを大いに活用していただきたいと思います。戦争・空襲の惨禍をふたたび繰り返すまじの決意で、民間人の蒙った戦禍を風化させることなく未来に継承し、平和を願う人たちの交流にも役立ちますようにと、心から願っています。

東京大空襲・戦災資料センター館長 早乙女勝元
(同館リーフレット引用)



公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会きょうふうかいは…

1886年(明治19年)創立で、日本で一番歴史の長い女性団体です。キリスト教精神に基づいて、女性の視点に立ち、すべての人々の人権と平和が守られるよう、困難な状況にある人々特に女性と子どもへの支援につとめ、社会全般の福祉の増進に寄与することをめざしています。

具体的には、武力によらない平和、女性・子どもへの暴力問題、アディクション(依存症)問題などをテーマとした学習会・講演会を多く開催しています。女性のための施設としてシェルター運営も行っています。

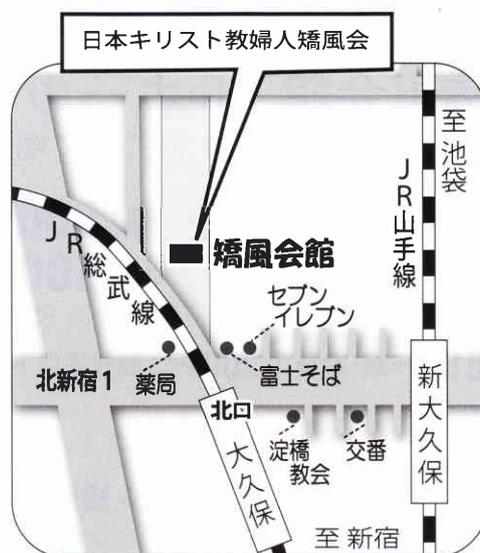
8.7 平和を考えるつどい 前売りチケットお申し込み

郵便局にある振替用紙(青)・通信欄に「8月7日講演会チケット」、またおところ・お名前・連絡先電話番号をご記入の上、チケット枚数分の金額(一般900円・高校生以下500円・会員800円)お振り込みください(振込手数料はお客様のご負担となります。ご了承ください)。

○ 郵便振替口座 00140-1-32469

加入者名「日本キリスト教婦人矯風会」

ご入金確認後、チケットを郵送いたします。8/7当日にお持ちくださいますよう、お願いいたします。



所在地：東京都新宿区百人町2-23-5
電話：03(3361)0934
FAX：03(3361)1160
ホームページ：<http://kyofukai.jp/>